


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



8月の銅の概況及び9月の見通し (3)

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると7月の自動車生産台数は前年比+2.2%の68万8,771台。輸出は+22.5%の34万9,841台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると8月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+4.4%の20万6,568台。

内訳は、乗用車が+3.7%、貨物が+9%、バスが+4.7%。

【住宅着工戸数】

7月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比9.9%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比6.9%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は77,182戸。前年同月比9.9%増、5か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は6,352千㎡。前年同月比13.1%増、4か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では926千戸。前月比6.9%増、3か月ぶりの増加。

【伸銅品生産】

日本伸銅協会が公表した2021年7月伸銅品生産動向速報値によると、7月伸銅品生産量は前年同月比48.8%増加した。自動車メーカーが計画する今年9月からの挽回生産に向けた在庫積み上げが大きい。

銅糸は、同比10ヶ月連続のプラス。7月で見ると、2008年に次ぐ第二位の生産量となった。引き続きディスプレイも含めて半導体向けが好調。デジタル家電向けも良い。また自動車向けの在庫積み上げを進められている。一部、銅糸品薄の話題も見られるが、顧客から会員の伸銅メーカーに入る情報の中に銅糸の供給不足による生産減の話は出ていない。

黄銅棒は、同比6ヶ月連続プラス。2019年同月実績を下回っているが、高水準を保っている。住宅設備関連が引き続き緩やかに回復している。また開散期の国内家庭用ガス機器に対して輸出向けが好調に伸びている。水栓金具のタッチレスタイプ向け需要好調が続く。

【電線】

前年比+3.8%の53,000 t。内訳は国内が+1.4%、輸出が+133.6%

【輸出】

電気銅輸出が-34.6%の4万8,760 t。

銅スクラップが-37.1%の2万3,874 t。

【見通し】

【自動車】

7月の自動車生産が+2.21%。6月国内販売台数が前年比+4.4%。生産の増加幅が極端に減少、半導体以外の中国からの部品供給の遅れ。同じく販売の増加率が減ってきている。今後増加していくか注視。

【伸銅品生産】

7月伸銅品生産量は前年同月比48.8%増加した。自動車メーカーが計画する今年9月からの挽回生産に向けた在庫積み上げが大きい。更に増加するか注目。

【電線】

前年比+3.8%の5万3,000 t。内訳は国内が+1.4%輸出が+133.6%。輸出が増加率が大幅増加。内外ともにプラスが続くか注視。

・銅輸出は、電気銅、スクラップは内需旺盛に伴い増加。

・銅輸入は、電気銅が内需玉から急減。スクラップは内需回復から微増。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は銅建値が111万から一時一段下の106万まで急落した(その後110万まで回復)ことから発生が無く在庫薄。

需要面に関して前月に続き中国コロナ感染拡大による部品調達遅れの自動車需要の減少から生産は減少傾向にあるが今のところ買い気あり、仮に急落してもその価格での販売に躊躇する問屋も多く定期で入らないメーカーが高値買いの傾向が続く。

【LME・為替予想】

今月も①コロナ感染拡大動向(デルタ株による)②米中の景気動向に左右される。

①に関しては、ワクチン接種によって治まっていた欧米が新株(ミュー株)に再び感染拡大の危機に陥っている。ただ今のところ感染力は未知数でデータもないが、ワクチン接種の更なる拡大から感染拡大が防げるのではないかと。

②に関しては、直近の景気指標で8月の中国製造業PMI(購買担当者景気指数)結果50.1、事前予想50.2、前回50.4。8月のコンファレンスボード米消費者信頼感指数、結果113.8、予想123.0、前回125.1(129.1から修正)。中国の8月の財新・中国製造業購買担当者景気指数(PMI)が昨年4月以来、初めとなる50割れ。

追加的景気対策が無ければ失速するのではないかと。これらを踏まえた8月の銅価格は9,000-10,000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は109円~111円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては102万~115万円程度と予測している。

(「8月の銅の概況及び9月の見通し」おわり)